

現地調査対象地域について

平成25年9月24日

現地調査対象団体一覧（その1）

○滝川市、函館市

日程等：平成25年10月7日（滝川市；事務局のみ）

（14－）15日（函館市；後藤座長・辻委員）

○長岡市（長岡地域定住自立圏）

日程等：平成25年11月7日（井熊委員・小西委員）

○美濃加茂市（みのかも定住自立圏）

日程等：平成25年11月21日（梶井委員・新堂委員）

○伊勢市（伊勢志摩定住自立圏）

日程等：平成25年11月25日（岡部委員・梶井委員）

○彦根市（湖東定住自立圏）

日程等：平成26年1月31日（小西委員）

○豊岡市（但馬定住自立圏）

日程等：平成25年10月（21日－）22日（杉浦委員）

○松江市（中海圏域の定住自立圏）

日程等：平成25年10月17日（－18日）（杉浦委員・新堂委員）

○益田市（益田圏域定住自立圏）

日程等：平成25年10月31日（－11月1日）（井熊委員・辻委員）

○延岡市（宮崎県北定住自立圏）

日程等：平成25年12月日5（－6日）（後藤座長）

現地調査対象団体一覧（その2）

○滝川市、函館市

日程等：平成25年10月7日（滝川市；事務局のみ）

（14－）15日（函館市；後藤座長・辻委員）

○松江市（中海圏域の定住自立圏）

日程等：平成25年10月17日（－18日）（杉浦委員・新堂委員）

○豊岡市（但馬定住自立圏）

日程等：平成25年10月（21日－）22日（杉浦委員）

○益田市（益田圏域定住自立圏）

日程等：平成25年10月31日（－11月1日）（井熊委員・辻委員）

○長岡市（長岡地域定住自立圏）

日程等：平成25年11月7日（井熊委員・小西委員）

○美濃加茂市（みのかも定住自立圏）

日程等：平成25年11月21日（梶井委員・新堂委員）

○伊勢市（伊勢志摩定住自立圏）

日程等：平成25年11月25日（岡部委員・梶井委員）

○延岡市（宮崎県北定住自立圏）

日程等：平成25年12月日5（－6日）（後藤座長）

○彦根市（湖東定住自立圏）

日程等：平成26年1月31日（小西委員）

現地調査対象団体一覧（その3）

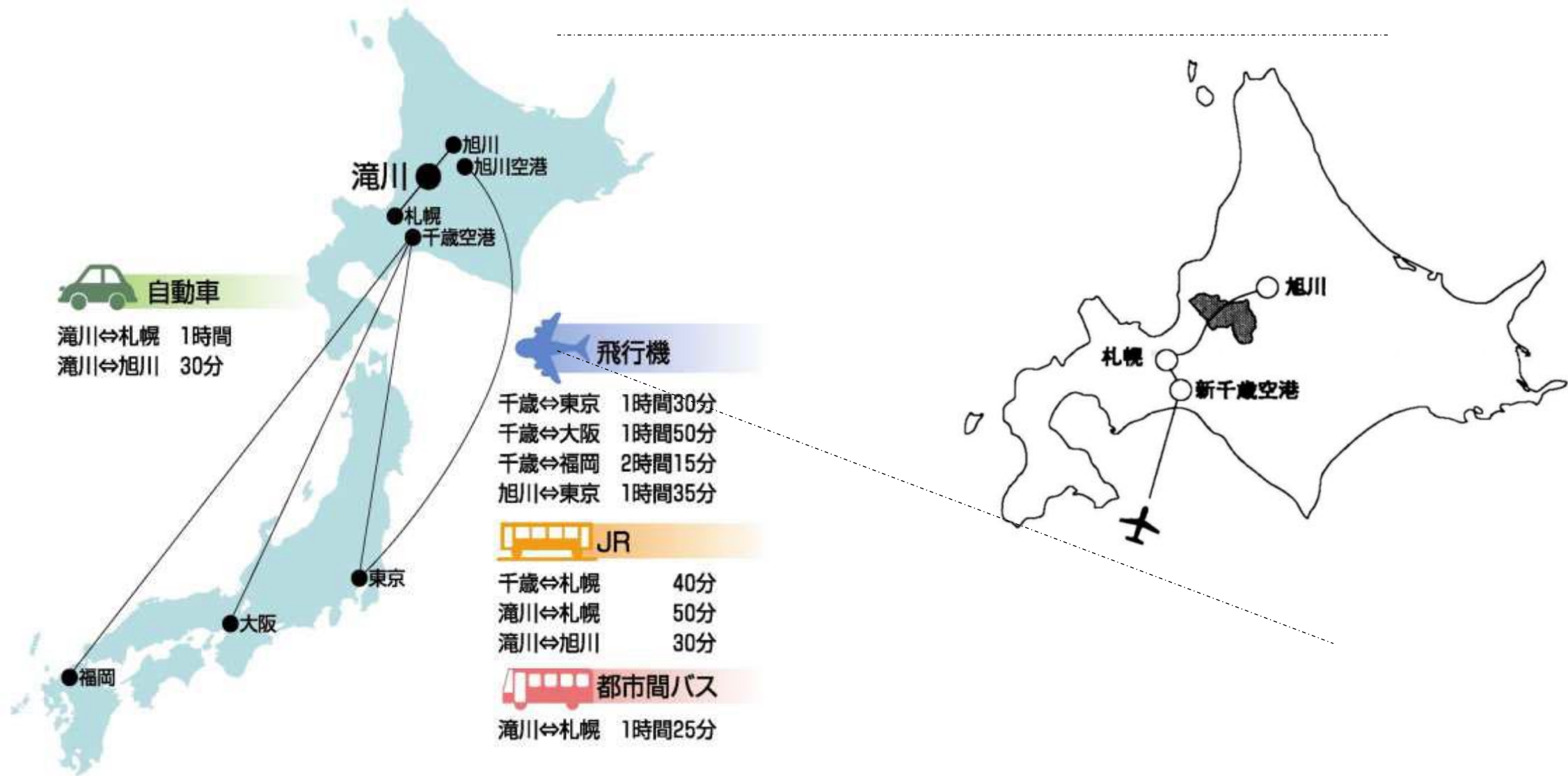


定住自立圏構想の今後のあり方に関する 自治体現地調査における視点(案)

- 定住自立圏における現在の取組状況の概要
- 定住自立圏の取組を進めてきた中での成果・効果
- 定住自立圏構想に取り組む以前の、広域連携に係る取組の実績
- 定住自立圏の取組を進めてきた中で、特に課題となったことや、それをどう乗り越えてきたか
- 特に、周辺市町村との連携において課題となったことや、それをどう乗り越えてきたか
- 定住自立圏の取組について、住民や議会はどのように考えているか
- 今後、定住自立圏の取組を発展させていくために懸念される、あるいは現在抱えている課題等
- 課題解消のために国に望む支援等(例えば、制度面の見直し・財政上の支援等)
- 今後取り組んで行きたい分野・事業

現地調査団体の主な取組・概要 について

滝川市の概要

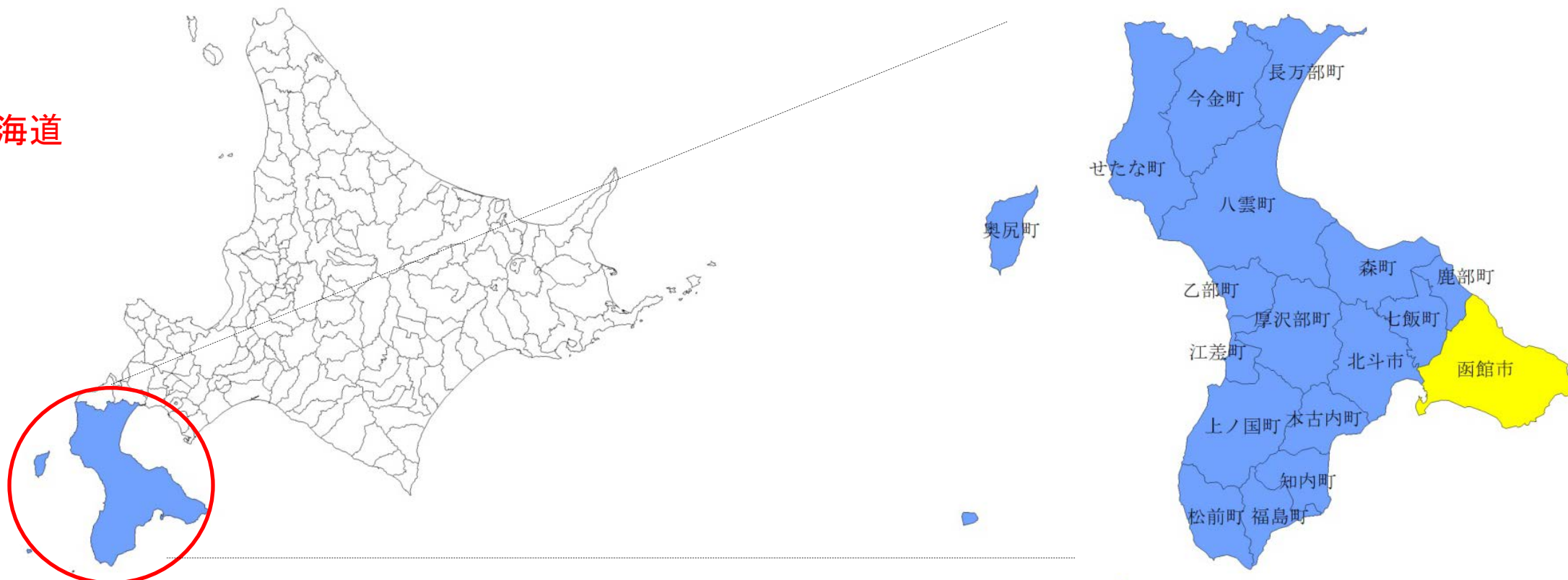


滝川市の基礎データ

人口(人)	面積(km ²)
43,170 (22年国調)	115.82
昼夜間人口比率	通勤・通学10%圏域内市町村名 (22年国調)
1.004 (17年国調)	赤平市、砂川市、歌志内市、上砂川町、新十津川町、雨竜町

函館市 定住自立圏（予定）の概要

北海道



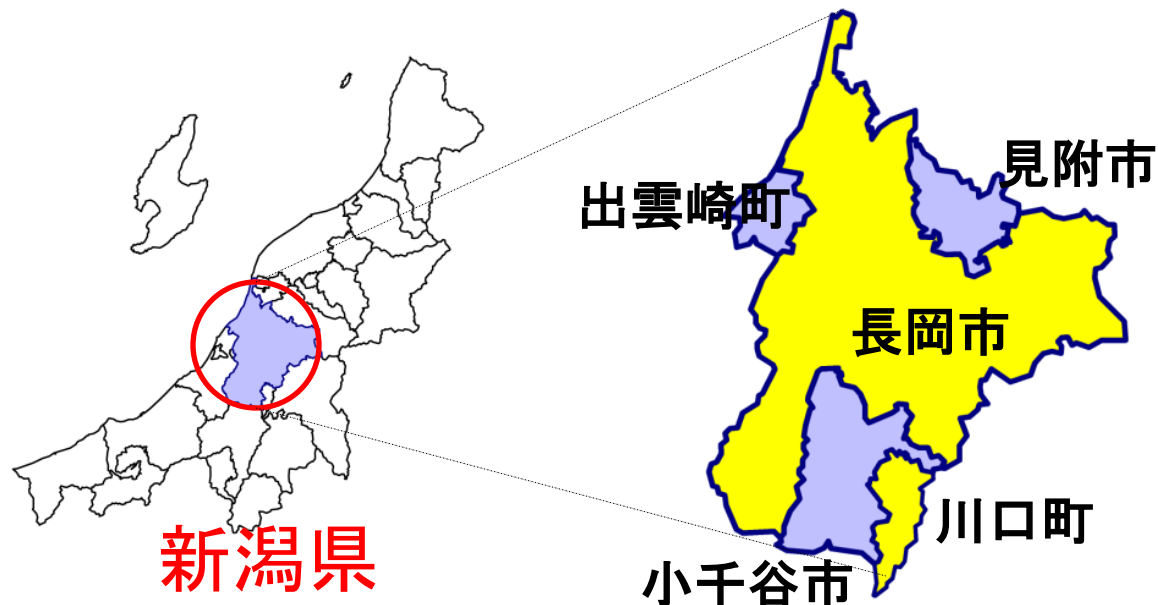
中心市名	人口(人)	昼夜間人口比率
函館市	279,127 (22年国調)	1.027 (22年国調)

周辺市町村名	人口(人)	周辺市町村名	人口(人)
北斗市	48,032	七飯町	28,463
松前町	8,748	福島町	5,114
知内町	5,074	木古内町	5,341
鹿部町	4,767	森町	17,859
八雲町	18,896	長万部町	6,386
江差町	9,004	上ノ国町	5,428
厚沢部町	4,409	乙部町	4,408
奥尻町	3,033	今金町	6,186
せたな町	9,590	合計	190,738

長岡市（長岡地域定住自立圏）の主な取組

分野	エネルギー
事業名	生ゴミバイオガス化事業
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・広域的かつ効率的に低炭素・資源循環型社会の形成を図るため、生ごみのバイオガス化を推進。長岡市に生ゴミバイオガス化施設を整備し、周辺自治体から排出される生ごみの受入れ体制の構築に向け、検討会を開催。 ・平成25年7月から、生ごみバイオガス化施設の供用開始と、出雲崎町における生ごみ分別収集を開始予定。ワーキング部会で、各市の生ごみ処理の取扱いや今後の計画について確認。 ・PFI方式で実施し、民間業者が設計・建設から運営・維持管理まで一括受託。 ・各市町村のごみ分別品目の違いや、ごみ処理に係る経費が今後の課題。

長岡市 定住自立圏形成協定の概要



中心市名	人口(人)	昼夜間人口比率
長岡市	282,674	1.026

周辺市町村名	人口(人)	周辺市町村名	人口(人)
小千谷市	38,600	出雲崎町	4,907
見附市	41,862	圏域合計	368,043

※平成22年国勢調査

○長岡市と周辺市町との定住自立圏形成協定の概要

(1) 生活機能の強化に係る政策分野

- ア 医療
 - ・高度医療及び救急医療体制の充実
(急患診療所の施設・設備の整備等)
- イ 産業振興
 - ・観光情報の発信及び観光誘客の推進
- ウ 環境
 - ・ごみの減量及び資源の有効活用
(生ごみのバイオガス化)
- エ 消防・防災
 - ・消防救急体制の強化
(119番通報・司令業務の一元化)
- オ その他
 - ・各種相談体制の連携強化 ほか

(2) 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野

- ア 地域公共交通
 - ・地域公共交通ネットワークの維持
(基幹バス路線等の維持)
- イ ICTインフラストラクチャーの整備
 - ・ケーブルテレビのサービスエリア拡大
- ウ その他
 - ・公共施設の相互利用 ほか

(3) 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野

- ア 人材の育成
 - ・職員の人材育成
(外部専門家による合同職員研修)
 - ・スポーツ指導者の養成

※周辺市町により、協定内容は異なることに留意。

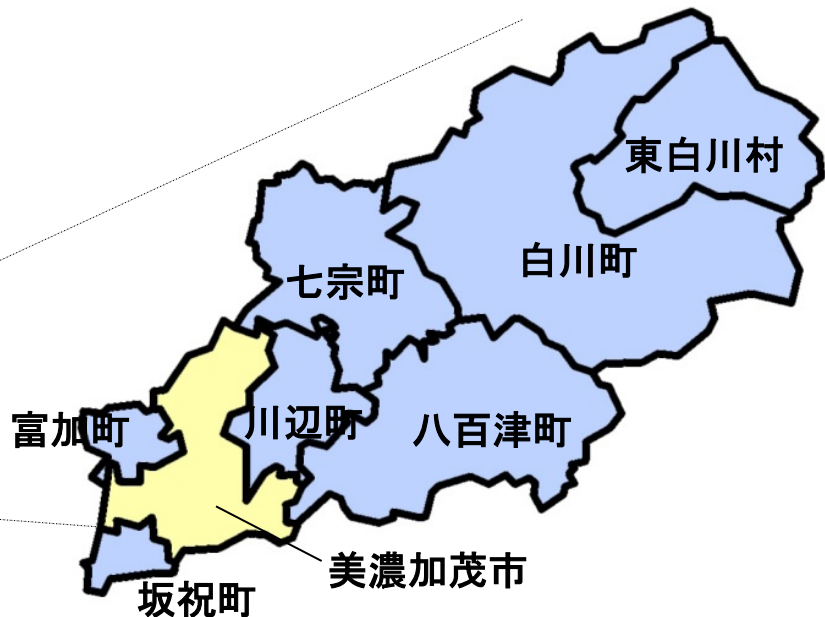
美濃加茂市（みのかも定住自立圏）の主な取組

分野	医療	公共クラウド
事業名	救急情報共有連携事業	電算システムの共同利用事業
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・岐阜大学医学部の学内ベンチャー企業が中心となって開発されたICカード(medica)を用いて救急搬送時の患者情報の共有を行う取組。搬送時間や治療時間の短縮を実現するもの。H25.4末時点で9365人分を発券。 ・木沢記念病院と可茂消防事務組合で先行運用中の取組を圏域内の医療機関へ拡大することを計画している。 ・今後は、中心市だけでなく、利用者の居住する市町村にも負担を求めるとともに、開業医を含む最新情報の共有など、カードの発展的な活用を検討したい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成23年12月から、美濃加茂市、坂祝町で、住民記録、住民税等につき、電算業務を共同で運用。坂祝町と合同のプロジェクトチームを結成し、システムの構築などの具体的作業を進め、民間のシステム会社に発注。 ・平成24年4月から、美濃加茂市、七宗町で、クラウドサービスの施設予約システムを共同利用。今後は参加団体の拡大を図り、運用、保守にかかるコストを抑えつつ、利用者の利便性を向上したい。
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・H22定住自立圏構想推進調査報告書(非モデル事業) 	

美濃加茂市 定住自立圏形成協定の概要



岐阜県



中心市名	人口（人）	昼夜間人口比率	
美濃加茂市	54,729	1.032	
周辺市町村名	人口（人）	周辺市町村名	人口（人）
坂祝町	8,361	川辺町	10,593
富加町	5,516	七宗町	4,484
白川町	9,530	八百津町	12,045
東白川村	2,514	圏域合計	107,772

※平成22年国勢調査

○美濃加茂市と周辺町村の間の定住自立圏形成協定の概要

(1) 生活機能の強化に係る政策分野

- ア 医療
 - 病診連携強化
 - 医療の高度化と救急対応能力の向上
- イ 福祉
 - 子育て支援サービス強化
 - 福祉サービス向上の環境整備
 - 高齢化社会に強い圏域の形成
- ウ 教育
 - 外国籍児童・生徒の教育環境整備
 - 公共施設の共同利用推進
 - スポーツ・文化団体等の交流促進
 - 不登校児童生徒への支援
- エ 産業振興
 - 農商工連携による地域ブランド開発
 - 木曾川や旧中山道活用の観光推進
 - 圏域の特色を活かした観光の推進
 - ものづくり観光推進
 - 産業活性化のための実践的職業訓練促進
 - 産業活性化のための異業種間・産学連携と人材育成の推進
 - 農林業の振興
- オ 環境
 - 総合的な環境・エネルギー対策推進

(2) 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野

- ア 地域公共交通整備
 - 地域公共交通ネットワークの推進
- イ 道路等のインフラ整備
 - 都市計画区域統合
 - 生活幹線道路整備
 - 生活インフラ相互利用
- ウ 地域住民の交流促進
 - 多文化共生推進
- エ 情報ネットワークの整備・活用
 - CATV、携帯通信、情報紙等を活用した情報環境整備

(3) 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野

- ア 人材の育成・交流
 - 職員の合同研修及び人材交流
- イ 外部からの行政及び民間人材確保
 - 外部の専門的な人材登用
- ウ 圏域行政事務の共同化
 - 行政事務の効率運用
 - 定住自立圏構想推進に係る会議の設置

※周辺町村により、協定内容は異なることに留意。

伊勢市 定住自立圏形成協定の概要



中心市名	人口(人)	昼夜間人口比率
伊勢市	130,271	1.030 (H12国調)

周辺市町村名	人口(人)	周辺市町村名	人口(人)
志摩市	54,694	鳥羽市	21,435
明和町	22,833	玉城町	15,297
南伊勢町	14,791	大紀町	9,846
度会町	8,692	圏域合計	277,859

※平成22年国勢調査

○伊勢市と周辺市町との間の定住自立圏形成協定の概要

(1) 生活機能の強化に係る政策分野

- ア 医療**
 - ・医療体制の確保
(休日夜間の二次救急医療体制確保)
- イ 福祉**
 - ・子育て環境の充実
(病児・病後児の保育施設の運営、ファミリーサポートセンターの相互利用)
- ウ 産業振興**
 - ・商工業の振興
(卸売市場の経営基盤の確立、企業立地推進)
 - ・農林漁業の振興
(有害鳥獣被害対策)
 - ・観光の振興
(旅客誘致及び修学旅行誘致、国立公園の自然保護及び情報発信)

(2) 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野

- ア 地域公共交通**
 - ・道路網の整備促進
(県道等の道路整備事業の推進
交通渋滞緩和対策
コミュニティバス等の充実)
- イ 地産地消**
 - ・地産地消の推進及び地場製品のPR
- ウ 住民交流**
 - ・地域情報の共有化及び発信
(地域情報共有化、圏域内外へ発信)
- エ その他**
 - ・図書館サービスの充実
(公共図書館の連携、サービス向上のための仕組み構築)
 - ・宮川流域の保全活動
(流域情報の集約・提供、魅力の発信)

(3) 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野

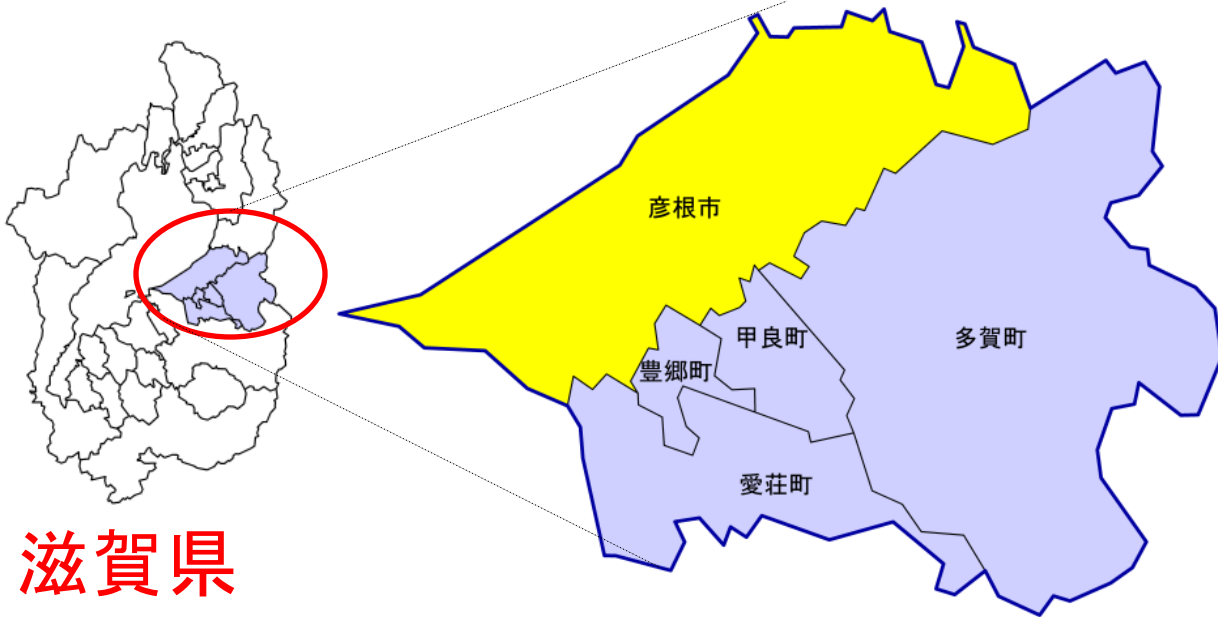
- ア 人材育成**
 - ・圏域市町職員・教職員の人材育成
(職員の能力・資質の向上のための合同研修)
- イ 圏域内神人材の育成**
 - (青少年の健全育成、情報交換及び研修会等の開催)

※周辺町により、協定内容は異なることに留意。

彦根市（湖東定住自立圏）の主な取組

分野	産業振興（共発モデル）	教育
事業名	地域創造事業	看護学部設置のための施設整備
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・圏域の一体感の醸成と活性化を図るため、圏域内の住民団体やNPO法人等が自ら創意工夫を凝らして企画・立案・実施する地域創造事業（戦国や戦（いくさ）をテーマとした事業、地域資源の再発見・掘り起こしにつながる事業、湖東圏域の活性化につながる事業等を募集し、審査して決定）に対して支援を行う取組。 ・採択事業の決定にあたっては、圏域内の委員で構成される審査会を開催。HPや報道機関への情報提供を一本化し、圏域全体での取組として周知を行う。 ・今後は補助がなくとも事業を遂行できるような方法を模索し、新たな団体が事業提案しやすい環境づくりを進めたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・圏域の医療従事者が不足する中で、学校法人聖泉大学に看護学部を設置するため、教室・実験室・研究機器等の整備を行い、専門性の高い看護師を養成する。現在は、看護師確保対策としてビジョンに基づく取組を推進。 ・現在の学生が看護師として就職するのは平成27年以降であるが、圏域内での医療機関等での実習を計画しており、圏域に就職してもらえるように学生の間から働きかけていく。
備考	・H22定住自立圏構想推進調査報告書（非モデル事業）	・H21定住自立圏等民間投資促進交付金（充当）
分野	公共交通	公共交通
事業名	湖東三山スマートICアクセス道路の整備	駅関連施設や駅周辺施設の整備
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・平成25年度に完成予定である湖東三山スマートICへのアクセス道路を整備することにより、同ICの利便性を向上させ、観光振興や生活環境等の向上を図り、湖東地域全体の活性化を目指す取組。 ・軸となる国道8号からスマートインターまでのアクセス道路を整備。今後は圏域内の広域道路網についても引き続き検討していくが、多額の事業費が必要となるため、事業費の確保が課題となる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・圏域の公共交通の結節点である彦根駅及びその周辺の整備を行うことにより、公共交通の利便性を圏域全体で高め、人・もの・情報等の交流の促進と地域の活性化を図る取組。 ・駅東口の周辺地域からの公共交通乗り入れに伴う結節点機能を高めるため、区画整理事業を実施している。 ・湖東定住自立圏推進協議会の地域公共交通部会において、整備方針等についての意見を聴取している。
備考	・H22定住自立圏構想推進調査報告書（非モデル事業）	・H22定住自立圏構想推進調査報告書（非モデル事業） 13

彦根市 定住自立圏形成協定の概要



滋賀県

中心市名	人口(人)	昼夜間人口比率	
彦根市	112,156	1.017	
周辺市町村名	人口(人)	周辺市町村名	人口(人)
愛荘町	20,118	甲良町	7,500
豊郷町	7,566	多賀町	7,761
圏域合計	155,101		

※平成22年国勢調査

○彦根市と周辺町との間の定住自立圏形成協定の概要

(1) 生活機能の強化に係る政策分野

- ア 医療
 - ・圏域内各医療機関の役割の明確化、機能分化、連携強化、ネットワーク化
- イ 福祉
 - ・障害者（児）福祉サービスの充実
 - ・次世代育成支援
- ウ 教育
 - ・拠点図書館の整備と図書館相互のネットワークの構築
- エ 産業振興
 - ・びわ湖・近江路観光圏構想の推進などによる観光振興
- オ 環境
 - ・低炭素社会の構築および琵琶湖の水質保全

(2) 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野

- ア 地域公共交通
 - ・圏域全体の総合的な公共交通ネットワークの構築
- イ（仮称）湖東三山スマートインターチェンジの整備
 - ・（仮称）湖東三山スマートインターチェンジを活用した地域振興
- ウ バイコロジー自転車道の整備促進
 - ・バイコロジー自転車道の整備およびルート（マップ）の整備
- エ 地域の生産者・消費者等の連携による地産地消の推進
 - ・農産物の生産体制の整備および学校給食や直売所における地元農産物の安定的な利用拡大

(3) 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野

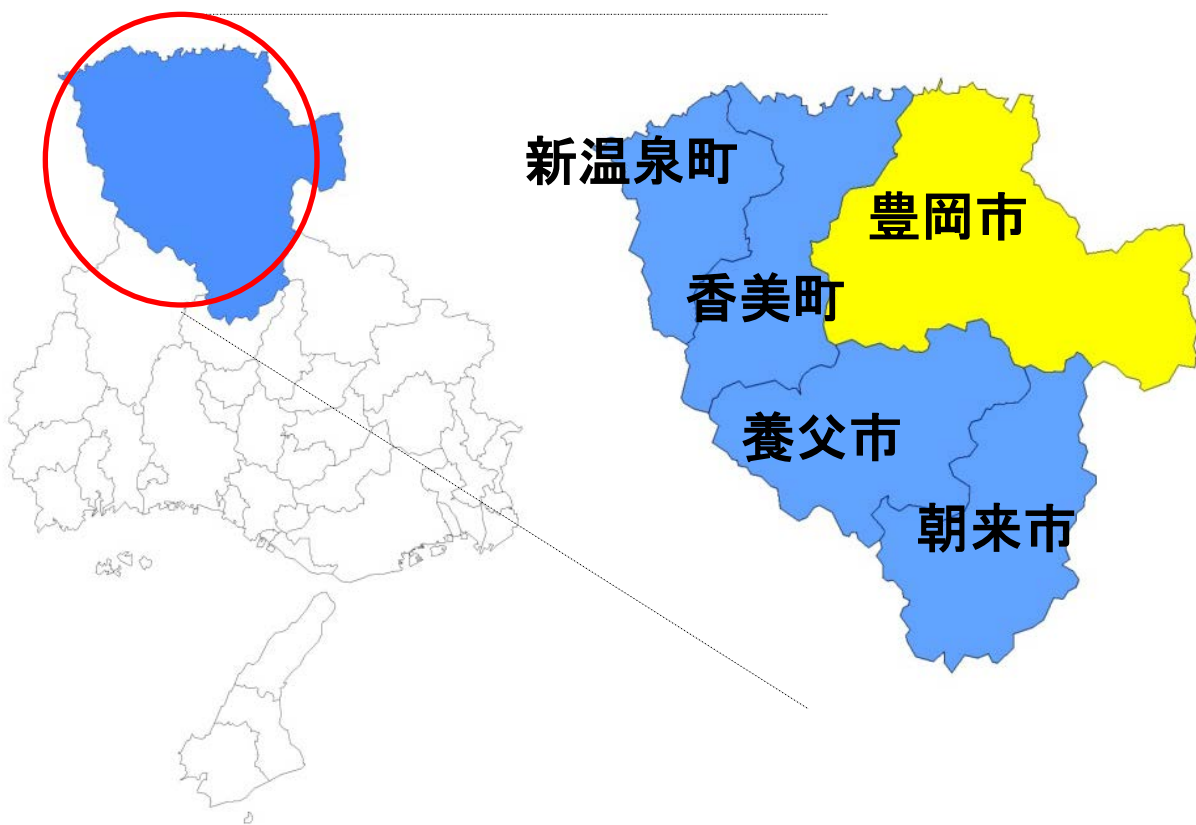
- ア 職員の人材育成
 - ・合同研修や研究等の実施による職員の資質および政策課題への対応力向上
- イ 職員等の交流
 - ・職員の人事交流
- ウ コンピュータシステムの共同利用・共同開発
 - ・コンピュータシステムの共同利用・共同開発

※周辺町により、協定内容は異なることに留意。

豊岡市（但馬定住自立圏）の主な取組

分野	産業振興
事業名	コウノトリ育むお米(コウノトリ育む農法)
事業内容	<ul style="list-style-type: none">・コウノトリも住める環境づくりを進めるため、おいしいお米と様々な生きものを同時に育む「コウノトリ育む農法」を推進。・研修会、生産者大会、消費者との交流会、体験活動等を実施。・「コウノトリ育むお米生産部会(事務局:JAたじま)を設置し、但馬全域での取組を推進。

豊岡市 定住自立圏形成協定の概要



中心市名	人口（人）	昼夜間人口比率
豊岡市	85,592	1.020

周辺市町村名	人口（人）	周辺市町村名	人口（人）
養父市	26,501	朝来市	32,814
香美町	19,696	新温泉町	16,004
		圏域合計	180,607

※平成22年国勢調査

○豊岡市と周辺市町との定住自立圏形成協定の概要

(1) 生活機能の強化に係る政策分野

- ア 医療
 - (ア) 医師、看護師等の確保等
 - (イ) 周産期医療体制・ネットワーク整備
 - (ウ) 救急医療体制の充実
- イ 産業振興
 - (ア) 山陰海岸ジオパーク推進
 - (イ) 農作物被害防止対策等の推進
- ウ その他
 - (ア) ごみ処理施設整備・運営
 - (イ) 大規模災害発生時における応援体制

(2) 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野

- ア 地域公共交通
 - (ア) 但馬空港の利用促進
 - (イ) 地域公共交通の利用促進
- イ 地域内外の住民との交流
 - (ア) 独身男女の出会いの機会の提供

(3) 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野

- ア 人材の育成及び確保
 - (ア) 職員研修事業

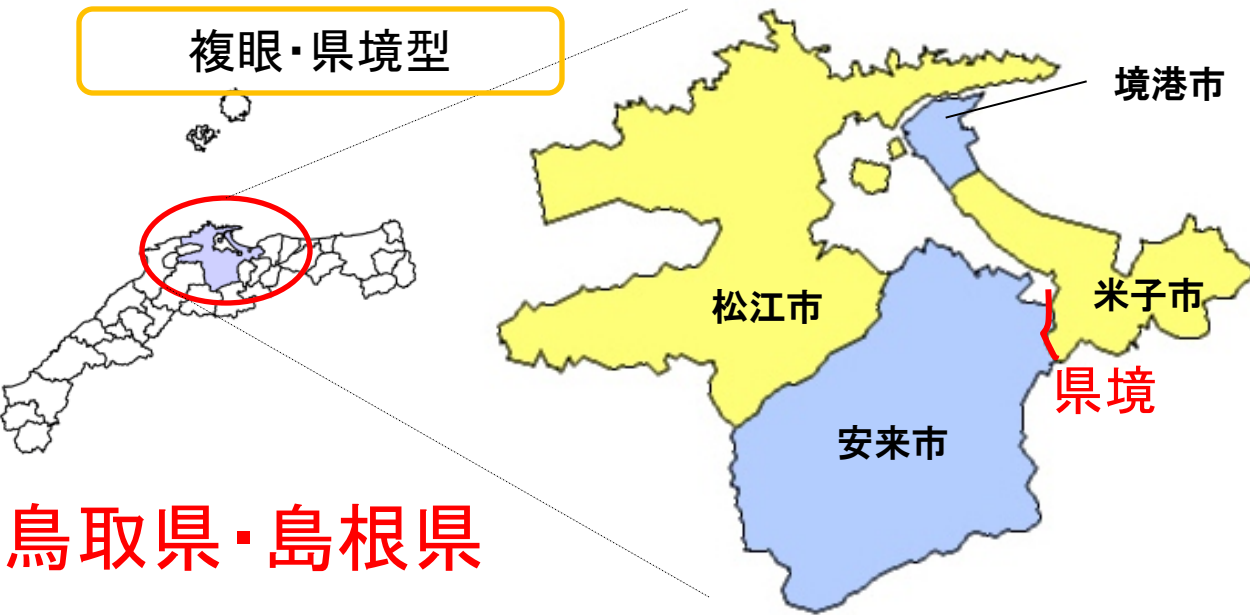
※周辺市町により、協定内容は異なることに留意。

米子市・松江市 定住自立圏形成協定の概要

分野	産業振興	交通
事業名	圏域情報発信及び観光振興事業	(美保関)コミュニティバス運行事業 境水道渡船代替バス運行支援事業
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・環日本海定期貨客船や米子ーソウル便等でロシア・韓国・中国等から圏域に訪れる外国人への情報提供を行うため、共通の外国語対応のパンフレットを作製する。 ・外国語対応のパンフレット及び各市の観光パンフレットを置くため、パンフレットスタンドを配置する。 ・境港・米子鬼太郎空港に入国する外国人観光客に歓迎の意を表する観光案内板(外国語表記)を整備する。 ・観光案内所、公設の観光施設等に外国語の会話に対応した翻訳機を配置し、外国人観光客の利便性の向上を図る。 ・中海圏域の風景や祭りなどの画像を数秒ごとに切り替え表示するフォトフレームを設置し、圏域の観光施設やイベント等の情報提供を行う。 ・ノベルティグッズ「ウンパくん」・「ゲゲゲの女房」を作成する。 ・圏域内に不足するといわれている観光客の2次交通について、コースを企画し、当地を訪れる観光客の需要、目的地等について、調査及び観光バスの実証実験を行う。 ・旅行会社とのタイアップによる圏域の観光商品を開発する。 ・その他関連事業を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・松江市美保関町から境港市のJR境港駅、鳥取県済生会境港総合病院を結ぶコミュニティバスを運行する。
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・地域活性化・経済危機対策臨時交付金(H21年度) ・定住自立圏構想推進基金(H22・H23年度) 	<ul style="list-style-type: none"> ・島根県生活バス路線確保対策交付金(～H22年度) ・島根県交通確保対策交付金(H23年度～)

米子市・松江市 定住自立圏形成協定の概要

複眼・県境型



中心市名	人口（人）	昼夜間人口比率
米子市	148,271	1.046
松江市	208,613	1.036

周辺市町村名	人口（人）	周辺市町村名	人口（人）
境港市	35,259	安来市	41,836
		圏域合計	433,979

※平成22年国勢調査

鳥取県・島根県

○中海圏域の間の定住自立圏形成協定の概要

(1) 生活機能の強化に係る政策分野

- ① 医療
 - ア 保健医療を担う病院への支援
 - ② 福祉
 - ア 圏域内の保育所情報の提供
 - イ 障害者雇用・就労支援の促進
 - ③ 教育
 - ア 体育・文化施設利用による住民交流の促進
 - イ 図書館利用者登録の拡充
 - ウ 学校給食に圏域内の特産食材の使用
 - ④ 産業振興
 - ア 圏域の観光振興
 - イ 「中海産業技術展」への支援
 - ウ 環日本海定期貨客船の安定就航に向けた支援
 - ⑤ その他
 - ア 下水道のインフラ整備
- ほか

(2) 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野

- ① 地域公共交通
 - ア 公共交通の利便性向上に向けた取組
 - イ コミュニティバスの運行
- ② 道路の交通インフラ整備
 - ア 中海の湖岸を周遊できる道路の検討
 - イ 中海架橋建設に向けた連携
- ③ その他
 - ア 「中海圏域振興ビジョン」（仮称）の策定
 - イ 圏域情報の共有化

(3) 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野

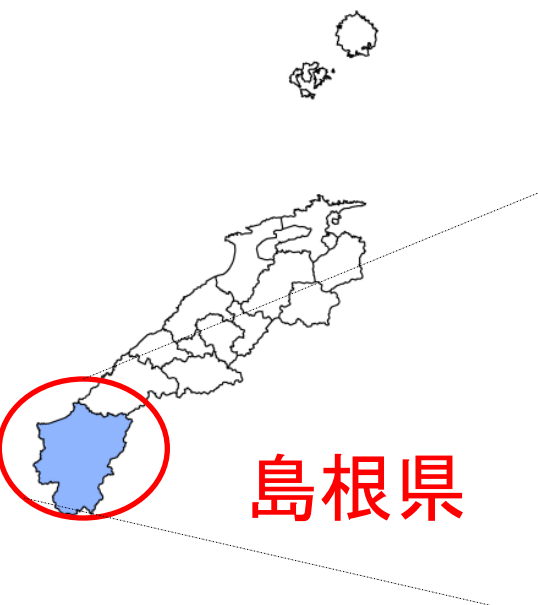
- ① 人材育成
 - ア 職員派遣及び合同職員研修
 - イ 外部から専門的な人材を共同で招へい

※周辺市により、協定内容は異なることに留意。

益田市（益田圏域定住自立圏）の主な取組

分野	医療
事業名	医療施設等整備支援事業（医療情報システム（電子カルテ等））
事業内容	<p>・H21定住自立圏等民間投資交付金を活用し、圏域内の中核病院が医療情報システム（電子カルテ等）の整備などを行う際、経費の一部を支援。島根県の医療ネットワークに接続することにより、ネットワークに加入する医療機関とITを活用した病診連携が可能となった。</p> <p>・また、益田圏域医療担当者会議を毎月開催するとともに、自治医科大学梶井教授の助言を受けながら、市民団体と連携した適正受診の啓発を行うなど、圏域医療体制の充実に向けたソフト事業を実施している。</p>
備考	<p>・H21定住自立圏等民間投資促進交付金（充当）</p>

益田市 定住自立圏形成協定の概要



島根県



中心市名	人口（人）	昼夜間人口比率
益田市	50,015	1.007

周辺市町村名	人口（人）	周辺市町村名	人口（人）
津和野町	8,427	吉賀町	6,810
		圏域合計	65,252

※平成22年国勢調査

○益田市と周辺町の定住自立圏形成協定の概要

(1) 生活機能の強化に係る政策分野

- ① 医療
 - ア 医療体制の維持・充実
 - イ 地域医療を守る体制の確立
 - ウ 医療連携の強化
- ② 産業振興
 - ア 高津川流域産品のブランド化
 - イ 流域産材の利用促進
 - ウ 観光の振興
 - エ 新・省エネルギーの導入促進
- ③ その他
 - ア 地域防災力の向上

(2) 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野

- ① 地域公共交通
 - ア 地域公共交通ネットワークの維持
- ② 交通インフラの整備
 - ア 高規格道路等の整備促進
- ③ 地域内外の住民との交流・移住促進
 - ア 体験型観光・滞在型交流の推進

(3) 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野

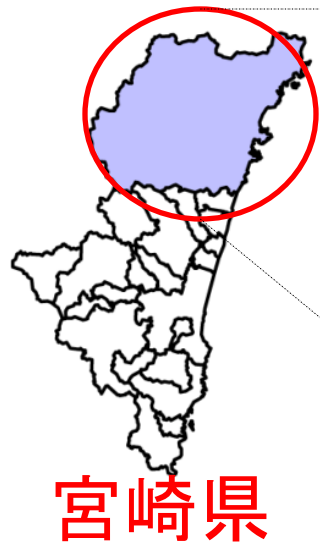
- ① 人材育成
 - ア 地域の担い手育成・確保
- ② 圏域内市町の人材交流
 - ア 職員の交流

※周辺市により、協定内容は異なることに留意。

延岡市（宮崎県北定住自立圏）の主な取組

分野	医療	産業振興
事業名	圏域医療体制の充実	雇用の場の確保
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・圏域の医療体制の維持・充実を図るため、圏域の二次・三次医療を担う拠点病院である県立延岡病院と地域医療機関との機能分担と業務連携を徹底。 ・中核病院に勤務する医師の負担を軽減させるため、医師会との連携による圏域医療体制の構築や住民団体による適正受診の啓発等を推進。 ・医師会等との協力による夜間急病センター・休日在宅当番医制の運営や、住民団体と連携した適正受診の啓発、小児救急医療電話相談の活用促進、地域医療を担う人材を育成するための取組等を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・医療機器産業の集積や豊富な農林水産資源などの圏域の特徴を活かし、産学官連携や圏域内の企業連携等を支援し、産業の振興を図る。 ・産学官の連携により、医療機器の研究開発促進、地場企業の医療関連産業の参入支援、医療技術者の育成と交流促進などに取り組み、「延岡市メディカルタウン構想」を推進。 ・木質バイオマス燃料の安定供給システムの構築、水産物ブランド品の品質向上・販売促進等により、豊富な地域資源を活かして雇用の創出を図る。

延岡市 定住自立圏形成協定の概要



圏域重複型(日向市圏域)

中心市名	人口(人)	昼夜間人口比率	
延岡市	131,182	1.013	
周辺市町村名	人口(人)	周辺市町村名	人口(人)
日向市	63,223	美郷町	6,248
門川町	18,854	高千穂町	13,723
諸塚村	1,882	日之影町	4,463
椎葉村	3,092	五ヶ瀬町	4,427
		圏域合計	247,094

※平成22年国勢調査

○延岡市と周辺市町村の間の定住自立圏形成協定の概要

(1) 生活機能の強化に係る政策分野

- ①地域医療
 - ・ 圏域医療体制の充実
 - ・ 初期救急医療体制の確立
 - ・ 検診体制の構築
- ②産業の振興及び雇用の場の確保
 - ・ 雇用の場の確保
 - ・ 木質バイオマス燃料の推進
 - ・ 鳥獣被害防止対策
 - ・ 水産物のブランド化及び販売
 - ・ 圏域観光の推進
- ③福祉
 - ・ 次世代育成支援対策
 - ・ 障がい者の支援体制の構築
- ④その他
 - ・ 消防相互応援体制の整備
 - ・ 廃棄物の適正処理
 - ・ 大学との連携
 - ・ 農林水産物の地産地消の推進

(2) 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野

- ①産業振興のための社会資本の連携活用
 - ・ 物流基盤の連携整備
- ②地域公共交通ネットワークの構築
 - ・ 中心市街地の活性化
- ③ICT基盤の整備活用
 - ・ 地域情報ネットワークの構築
 - ・ ICTによる遠隔医療・遠隔教育等システム構築の研究
- ④高速交通網及び幹線・生活道路の整備、活用
 - ・ 交通ネットワークの整備充実
- ⑤地域の相互理解と交流の推進
 - ・ 地域の資源を活かした圏域内の交流
 - ・ スポーツ合宿の共同誘致
 - ・ 森林保全

(3) 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野

- ①圏域住民の人材育成
 - ・ 職業系の人材育成
 - ・ 地域の資源を活かした人材育成
- ②職員の交流
 - ・ 行政職員の人材育成
- ③外部人材の活用
 - ・ ICT基盤を活用した生活機能の強化に係る検討
- ④その他
 - ・ 自治体電算システム機能の共同調達

※周辺市町村により、協定内容は異なることに留意。